



ちゅうりっぷ組だより 8月号



令和4年8月22日 ことり保育園 担当 野口

日差しが強く、蒸し暑い日が続いていますが、子ども達は多目的保育室の下の日陰を利用して、水遊びを楽しんでいます。用意してあるタライに寄って行き、中を覗いては、自分から手を入れ、水に触れてはバシャバシャと叩いたり玩具や空き容器を握り、水をすくったり流したりし、自然に笑顔があふれます。牛乳パックで作った赤い金魚がお気に入りです。ずっと持って遊ぶ姿がとても可愛いです。



最近、食事面では、月齢の大きい子は“自分で”という気持ちが見られ、手づかみやスプーンを手に、自分で口に入れるようになってきました。離乳食の子も、自分でつまんで食べ、とても満足そうな姿が見られます。他にもいろいろな面でも、“自分で”という思いが表れていますので、ぜひご家庭でも、お子さんのその思いを受け止めながら、一緒に伸ばしていけたら良いと思います。

今月も、新しいお友達が入り、とても賑やかで、活発さが増してきました。また、ことばも少しずつ発するようになり、今は、「あった!」ということばがあちこちで聞かれます。子どものことばに大人が丁寧に対応するとともに、“やりたい”“出来る”という意欲や喜び、楽しさを味わえるよう保育して参ります。

